



吉川 慶一
議員

交流観光について

交流観光について

然等を体験学習できるようなプランの作成はどうか。

質問

ジオパーク・新緑・紅葉、あるいは海の幸・山の幸の活用など、交流人口拡大に向けた具体策について伺う。

市長答弁

交流人口の拡大については、定期観光バスやあんこう祭りなど季節や場所に応じた観光プランの充実に努めるとともに、情報発信や受入態勢



保坂 悟
議員

日本一の子どもづくりと教育環境整備について

日本一の子どもづくりと教育環境整備について

質問

「雪国」としてスキー・スノーボードの普及、あるいは「世界ジオパーク認定のまち」として英会話の普及など、糸

教育長答弁

スキー・スノーボードについては、スキー場リフト券利用助成や市民スキー大会の開催等を通じ、子どもたちへの普及に努めている。

魚川の子どもらしい特長づくりについて伺う。

の整備など、ジオパーク戦略プロジェクトに基づいて着実に取り組みを進めていきたいと考えている。

また、JR大糸線を利用した体験学習については、塩の道を歩くイベントや「まるごと小滝ウォーキング」をはじめとしたイベント等が行われているところではあるが、北アルプス日本海広域観光連携会議の中で、大糸線を利用した体験型ツアー等の開発を進めていきたいと考えている。

質問

一般廃棄物最終処分場の適正化の見通しについて

一般廃棄物最終処分場の整備の進捗状況について伺う。

また、一般廃棄物最終処分場の再生事業を含む、ごみ処理施設・中間処理施設・最終処分場の整備の方向について、結論を出す時期はいつ頃なのか。

市長答弁

一般廃棄物最終処分場の整備については、現在、適正化

また、海洋高校で行われている模擬会社や部活動等を行う政や民間が丁寧な支援し、卒業生が糸魚川で就職、起業できるといったような土壌づくりを図る考えはないか。



市長答弁

ジオパークに関しては、各地のジオパークが蓄積したノウハウを全国の関係者が学び

工事を概ね計画通り進めており、平成26年度の完成を予定している。

他の事業については、ごみ処理基本構想検討委員会の審議を踏まえ、再生事業については近々地元へ説明を行い、また、各施設の整備方針については今年度内に結論を出す予定である。

《その他質問項目》

・北陸新幹線開業に伴う対応について

合えるような機会について検討している。

海洋高校については、県内唯一の水産高校で、当市にとっても大きな財産であり、水産資源等を活かした新たな商品開発や産業化を見据え、産官学の連携を強化していきたいと考えている。

《その他質問項目》

・福祉事業の拡充について
・安心・安全なまちづくりについて

交流人口拡大と地域活性化策について

質問

全国でジオパーク認定の動きが広がっている中、先進地として、ジオパーク推進スタッフの養成学校の設立など行う考えはないか。

英会話については、市内中学校に5人のALT(外国語指導助手)を配置しており、また、小学校や幼稚園、保育園等にもALTを計画的に派遣している。